

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーのテーマ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

●会長 吉田 嘉昭

●幹事 松岡 泰光



No.1749 令和 03 年 10 月 20 日 第 15 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30~

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務局 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング

「我等の生業」

(ソングリーダー 古田哲朗)

■来訪者紹介

卓話者 和泉 秀 さん(熊本東南 R A C)

デザインラボ クロコ 代表

アーバンディレクション代表

米山奨学生 ティティコンサコルウオング, サクピシット 君



■会長の時間(会長 吉田嘉昭)



1. E D R (Event Data Recorder)とは

自動車版フライトレコーダー
自動車に搭載される小型の装置(エアバックモジュールの中に組み込まれている)
衝突前後数秒間の走行速度や、アクセルとブレーキの操作などを0.004~0.5秒間隔で記録する装置



①データ解析・分析により事故原因を明らかにすることができる。

②元々は自動車メーカーが訴訟に備えてエアバックの作動記録を残すため搭載したが先駆けて、1990年代中ごろから米国で活用され始めた。

③日本では2006年から装着が始まり、2017年にはほとんどの車両に搭載されている。

3.データ抽出・解析



① E D Rデータの抽出・解析にはBOSCH(ボッシュ)の C D R (Crash Data Retrieval) が用いられる。

②データ抽出・解析はBOSCHでトレーニング(費用150万円)を受けたアナリスト(2020年12月現在 約400名)のみが行い、法的に有効な決められた手順で行う。

③ E D Rデータの抽出・解析は C D R だけが認められている(特約)

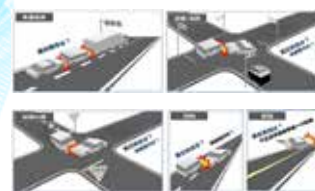
4.活用機関

(1) 警察

捜査に生かすケースが増えている。警察庁の科学警察研究所は2007年度から各県警などの要請を受けて EDRの解析を始めている。科警研を中心にEDRに詳しい人材の育成も進めており、自力で解析できる都道府県警も出てきている。

(2) 損保会社

あいおいニッセイ同和損保は事故の状況や過失割合を調べるうえでEDRのデータは非常に効果的であるので、2017年からEDRのデータ活用を始めた。これまでに400件以上の事故の調査で役立っている。



東池袋自動車暴走死傷事故

2019年4月19日、東京都豊島区東池袋四丁目で発生した交通事故(自動車暴走死傷事故)
乗用車を運転していた〇〇〇(当時87歳)が、車を暴走させ、交差点に進入。歩行者・自転車らを次々にはね、計11人を死傷させた(母子2人が死亡、同乗していた〇〇の妻を含む9人が負傷)

被告人「車に電子システムの異常が起き、ブレーキが効かなくなった」として無罪を主張

検察官「事故の原因は、被告人がブレーキとアクセルを踏み間違えたことだ」

証拠としてEDRの解析データを採用

2021年9月2日、東京地裁は検察官の主張(被告人による過失)を認め、禁錮5年の実刑判決を言い渡した。被告人・検察官とも控訴せず、判決は同月17日に確定した。

5.今後について

データ解析により事故原因が明確化されると



責任の明確化 => 訴訟へ発展する恐れ

自動車レベル3以上の車両が段階的に市場へ導入

- ①従来の実況見分では通用しない。
- ②交通事故の原因がシステム側にあるのか、ドライバーにあるのかも含め、正確かつ公正な視点で分析することは極めて重要となる。

EDRによる事故解析の重要性が増す

■幹事報告(幹事 松岡泰光)



■来客案内

1)

中島敬高 熊本第3グループガバナー補佐より、熊本第3グループ IM(インターシティ・ミーティング)開催の案内。

期 日 2021年11月26日(金)

場 所 熊本ホテルキャッスル 地階「クリスタルホール」

分 担 金 500円/人

対 象 者 熊本第3グループ内ロータリークラブ全会員

スケジュール

14:00~14:30 受付

14:30~14:50 開会挨拶

14:50~15:35 講演(堀川ガバナーエレクト)

15:35~16:25 会費表「ロータリーに入会して思うこと」(各5分×8クラブ)

16:25~16:30 閉会挨拶

※各クラブより、発表者1名を選出する(入会年次の若い会員)

2)

ロータリーの友より、「ロータリー日本100年史」購入のお願い。

(一部6,000円)

3) 大森克磨ガバナー、小野健介 国際奉仕部門長、緒方 肇 国際奉仕委員長より、ベトナム新型コロナワクチン基金への支援のお願い。

■今後の行事

2021	11月6(土)	社会奉仕・国際奉仕・公共イメージ合同セミナー	大分県大分市	J:COM ホルトホール大分 (ハイブリッドセミナー)
	吉田嘉昭、松岡泰光、杉本整哉、彌富照皇、村瀬直久			
	11月13(土)・14日(日)	ローターアクト 第37回年次大会	大分県大分市	大分センチュリーホテル
	案内中			
11月20(土)	職業奉仕 WEBセミナー	地区ホームページ WEBサイトより	オンラインセミナー	
	吉田哲朗、宮川義行、吉田嘉昭			
11月26(金)	熊本第3グループ IM	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	
	新着			

■ロータリー情報の時間 (ロータリー情報担当 潮谷愛一)



■委員会報告 (青少年奉仕担当 宮川義行)

昨日、中央公民館とオンラインで、アクト第2例会が行われました。来期の取り組みとして、地区留学生交流会のホストクラブに向けての話し合いを行いました。出席者は、櫻井会長、松村会員、和泉会員、Zoomで宮田会員、東南ロータリーからは吉田会長、小畑会員、彌富会員と私の4名、合計8名の出席でした。来月も第2、第3火曜日の20時から例会予定です。皆様の出席をお待ちしています。



■委員会報告 (長期戦略副委員長・創立40周年副委員長 福井学)

10月27日(水) 18:30~「瑞恵」にて長期戦略委員会&創立40周年実行委員会 合同委員会を開催いたします。



■長期戦略委員会

委員長 松本繁
副委員長 福井学
委員 白石 繁 永野昭一 内田信行 松本一也
吉田嘉昭 山田公也 中島祐爾 松岡泰光

■創立40周年実行委員会

相談役 鈴木義親 松本繁
委員長 内田信行
副委員長 福井学
委員 永野昭一 小畑成司 山田公也 杉本整哉
中島祐爾 緒方公一 前田日出夫

■出席報告 (出席・スマイル担当 松田和成)

月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
10月06日	43 (免3) 40	28	4	32	80.00
10月20日	43 (免2) 41	27 (Zoom 4)			65.85

☆出席免除

10月06日
住江正治 島村徹男 志賀重人
10月20日
住江正治 島村徹男



☆欠席者

10月06日 8名
堀内健太郎 川崎直樹 小野川義行 白石 繁 武末直大
山坂哲生 矢野敬之 吉永陽三



■スマイル

(親睦・スマイル担当 草村安宏)



◎村瀬直久 10,000円

先日は、カミさんの誕生祝いありがとうございました。また本日は、私的な事で時間をいただきご迷惑をおかけいたします。



◎宮川義行 1,000円

いきなり寒くなりました。おなか冷えてませんか?あと2ヶ月すこしで今年も終わりますが、予定変更・中止ばかりで思い通りにならない1年でした。でもパソコンやスマホの操作が少し

上達しました。簡単な打ち合わせや県外の人との会話も机の前でできるようになりました。でも対面が1番いいですね。残り2ヶ月少し、身体に気を付けて頑張りましょう。

■卓話

(和泉秀さん(熊本東南RAC会員)
熊本大学院建築学科卒業、
デザインラボクロコ 代表
アーバンディレクション 代表)



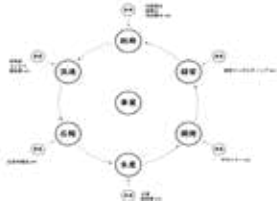
美しい街並みを目指して



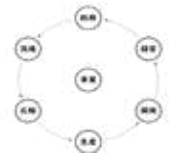
和泉 秀 (Shu Wazumi) 氏
1988年 熊本県 熊本市 生まれ
2010年 熊本大学建築学科 卒業
2011年 株式会社デザインラボクロコ 代表
2012年 株式会社アーバンディレクション 代表
2013年 株式会社デザインラボクロコ 代表
2014年 株式会社アーバンディレクション 代表
2015年 株式会社デザインラボクロコ 代表
2016年 株式会社アーバンディレクション 代表



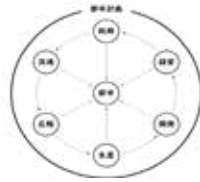
92 事業の拡張と他事業との関係



93 都市と経済活動の関係



94 都市計画による情報の集約



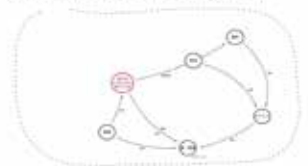
95 集約された情報の利活用と最適化



96 車道を克服した計画のゆまゆま



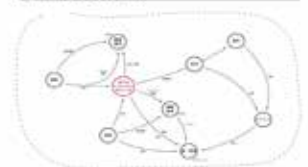
97 赤土・黒土・白土・オアシスを中心とした複合開発



98 産業との関係



99 農産物ブランドの盛り上げ



100 開発機会の創造



101 学校へ関心することで新しい機能で都市を再設計してもらう





■点鐘

(編集者 沼田敏雄)

デジタル時代とコロナ時代のロータリークラブ

投稿日：10月18, 2021

寄稿者：天野志乃布 (愛知三州ロータリークラブ会員)

「新しいカタチ」のロータリークラブ



緊急事態宣言下でのガバナー補佐訪問例会 (2021年9月09日撮影)

私は祖父と父がロータリアンだったので、「ロータリークラブは平日の昼間に仕事を調整し、例会に参加する団体」だと思っていました。なので、いざ入会を誘われたときには、日中に仕事を抜け出して出かけることに対して、何となくモヤモヤを感じました。けれども、2017年3月に設立された愛知三州ロータリークラブは、「新しいカタチ」のロータリークラブだと知り、「これならできそう! (=続けられる)」と入会しました。何が新しいのかというと…

- ・ 例会は平日夜 18 時 30 分から
- ・ 食事が無いので会費が安く、例会に集中できる
- ・ 遠隔地からオンラインでの例会参加が認められる

当時私が一番気にしていたコンセプトは、「オンラインでの例会参加が認められていること」。早速、出張先の大阪のホテルから「Skype」で初めてオンライン参加し、スマートフォンさえあれば点鐘から点鐘まで、問題なく参加できました。他のメンバーたちも、出張と重なった時はオンラインで参加しています。

事務局がなくてもデジタルで運営

他の特徴として、当クラブは年会費が抑えられており、事務局を持っていません。そのため、クラブで割り当てられたアカウントのメール、あるいはコミュニケーションアプリ「LINE」のグループを通して連絡がきます。地区大会や奉仕活動の出欠も、「スケジュール調整アプリ」などを活用します。ほかにも、例会や親睦会などの写真は「BAND」にアップし、そこから写真を選んで「Facebook」に投稿しています。

コロナ禍でも例会を

2020年、新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるいはじめ、私たちも2回例会を中止せざるを得ませんでした。その期間中、当時の執行部がいち早く「Teams」を活用し、全メンバーに普及させたことにより、2020年4月から通常通りに例会が再開されました。現地に参加できる人では現地、現地に行けない(行かない)人はオンラインでの参加を選択できる「ハイブリッド型例会」なので、一時帰国していた米山奨学生も、母国から例会に参加することが可能となりました。

今までもオンラインでの例会参加は可能でしたが、「緊急事態宣

言」など今まで考えもしなかった状況を受け、対面での出席人数を制限し、例会開催や参加の方法についてさらに検討した結果、安心して安全な現在の例会運営方法にたどり着くことができました。

奉仕と親睦も継続

手探りながらも例会を運営できるようになると、次はロータリアンにとって大切な「奉仕活動」と「親睦活動」をコロナ禍でどのように行うか、を考えました。



社会奉仕活動「天使の森 植樹」(地区補助金奉仕活動)での植樹活動(2020年11月3日撮影)

特に奉仕活動は対外的に人が集まることが多く、従来通りに進めることが困難ですが、屋外で行う「天使の森の整備・植樹」や「おとがわりパークリターン」は、体調管理と密にならないように気をつけながら、比較的以前と変わらないスタイルで行っています。屋内で行う奉

仕活動である「外国にルーツをもつ子どもたちへの学習指導(財団補助金事業)」では、緊急事態宣言中は「zoom」の指導のみとし、宣言解除時は直接またはオンラインを選択できる方法で行っています。また、「子ども食堂」では一緒に食事を取ったり、談笑したりすることは叶いませんが、弁当を渡して、声掛けすることに変更した上で継続的に支援しています。

会員同士の親睦は、店で集まるのは今も難しいですが、家族親睦例会の代案としてビンゴゲームをオンライン例会で行ったりし、予想以上に盛り上がりました。また、東京2020のオリンピック観戦も親睦委員会主導でオンラインで行い、野球などいくつかの競技を観戦しながら交流しました。ハイブリッド例会を通じて思った以上に交流できることがわかり、今後は保留になっていた新入会者や米山記念奨学生のウェルカム・パーティーをオンラインで行う予定です。

これからはソウゾウ(創造・想像)する

当クラブの特長であるハイブリッド例会を継続し、参加方法を繰り返しメンバーに伝えることによって浸透させた結果、2020-21年度の例会休会はなく、コロナ禍でもガバナー公式訪問時の出席率は約90%、2020-21年度の年間出席率は約94%を維持できました。

愛知三州ロータリークラブは「ロータリーはこうでなくてはならない」という壁を低くして、「こういうロータリーもありでしょう」を体現したクラブです。今後はニコニコボックスのオンライン化とメンバーへの周知、そして今あるツールの選択と最適化が必要と考えています。時代と共にこれからも変化を取り入れ、(不得手なメンバーへのフォローを忘れず)これからのロータリークラブをソウゾウしていきたいです。

【寄稿者プロフィール】

天野 志乃布 (あまのしのぶ)

歯科医。

愛知三州ロータリークラブ第5代目会長(2021-22年度)。



ロータリーボイスより